

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	黒船サーカス開催補助金	開始 年 度	平成23年度
団 体 名	函館黒船地域活性化協議会	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	黒船サーカス開催補助金交付要綱, 函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・「音楽とファッションと食」のフェスティバル ・アーティストライブ・ファッションショーなどのステージイベントとグルメイベントを融合させた道南最大級のイベントに対し、経費の一部を補助するもの。
目 的	(目 的) ・若者達が自ら企画立案した「音楽とファッションと食」のイベントを通じて、地域の活性化および若者達のまちづくりに対する意識の向上を図ることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) ・市民はもとより多くの方々に参加する函館を代表する一大イベントとして、地域の活性化に寄与するほか、若者がスタッフやボランティアとして参加することにより、若者のまちづくりに対する意識の向上につながる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自己資金	繰越金	協賛金	計
		市	その他					
収 入	R元	2,000 [2,000]		2,257	15		12,082	16,354 [2,000]
	R2							0 []
	R3							0 []
	R4	2,000 [2,000]			188		8,000	10,188 [2,000]
	R5	2,000 [2,000]		198	28		9,200	11,426 [2,000]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R元			16,354 [16,124]				16,354 [16,124]
	R2							0 []
	R3							0 []
	R4			10,188 [9,973]				10,188 [9,973]
	R5			11,426 [11,402]				11,426 [11,402]

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	黒船サーカス開催補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	本事業は、市内の経済界や市民の協力を得ながら、若者達が行うイベントとして、多くの市民の参加を得ているほか、市民参加型の事業にもなっており、地域の活性化に寄与している。また、スタッフやボランティアとして若者が参加することで、まちづくりに対する意識の向上にもつながっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	このまちに暮らす将来を担う若者たちの地域を思う気持ちや豊かな発想をもとに実施するイベントの開催など、自主的なまちづくり活動に対し、積極的に支援をしていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	自主自立に向け、地元企業からの協賛金の確保や来場者数の増加等へ、不断の努力を続けている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	地域の若者たちが中心となり実施している事業に対する支援であり、補助が最も適切な方法である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☒	コロナも収束したことから、協賛金のさらなる確保・事業の自主自立へ向けた取り組みを検討していく。
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は設けていないが、協賛金の集まり次第で事業規模の縮小があり得る。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	黒船サーカス開催補助金
----------------	-------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)			
(年度)	(来場者数)	(年度)	(来場者数)
・ H25 HAKODATE黒船2013	約 8,100人	・ H30 道南函館黒船2018	約15,000人
・ H26 HAKODATE黒船2014	約12,000人	・ R1 黒船サーカス2019	約14,000人
・ H27 HAKODATE黒船2015	約 3,600人	・ R2 市外にて別事業を実施したため補助金交付対象外	
・ H28 HAKODATE黒船2016	約14,500人	・ R3 新型コロナ感染拡大のため, 事業中止	
・ H29 道南函館黒船2017	約15,000人	・ R4 黒船サーカス2022	約7,000人
		・ R5 黒船サーカス2023	約20,000人
(達成状況)			
・ 令和5年度 開催2日間でのべ約20,000人の来場者と約200人のスタッフ・ボランティアが参加するなど, 若者をはじめ市民の関心も高く, 多くの市民がイベントに参加することで, まちづくりに関心のある若者の育成に繋がっている。			



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 当該イベントは若者の育成および街の魅力向上に大きく寄与するものであり, 現在, 自主自立に向けて地元企業からの協賛金の確保や来場者数の増加等への努力を続けていることから, 今しばらく支援を継続し, 今後の補助のあり方について検討する。
☒ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期) 令和8年度	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 8 年度		令和 8 年度